

SHALL WE PORT?

～国際交流・国際理解への旅～

vol.9
(2011.1)

CONTENTS

■特集

留学から見える・広がる世界

寄稿「留学の終焉？」

新潟国際情報大学 教授 佐々木 寛氏

留学から得たことは？

～留学経験者インタビュー～

新潟県内の交換留学制度実施大学

■NIA インフォメーション

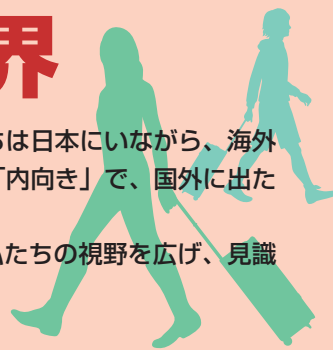
発行元／財団法人新潟県国際交流協会 Niigata International Association

特集 留学から見える・広がる世界

情報通信技術の飛躍的な発展により、テレビやラジオ、インターネットなどを通じて、私たちは日本にいながら、海外の情報を簡単に手に入れることができるようになりました。そのためか、最近の日本の若者は「内向き」で、国外に出たがらない傾向があるとされています。

しかし、媒体を通して見る「世界」ではなく、自分の足で歩き、自分の目で見て感じる「世界」は、私たちの視野を広げ、見識を深めてくれるのではないのでしょうか。

今号では「留学から見える・広がる世界」について、考えます。

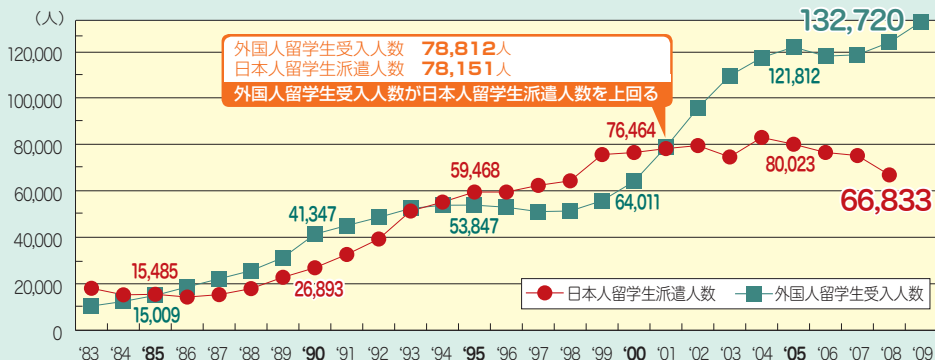


留学の現状は？

文部科学省のデータによると、2008年度の日本人留學生の派遣人数は66,833人であり、その主な留学先は、アメリカ、中国、イギリスの順となっています。日本人留學生の派遣人数は、1987年度から、徐々に増加していましたが、2001年度を境に外国人留學生の受入人数が日本人留學生の派遣人数を上回り、2005年度からは、日本人留學生の派遣人数が年々減少しています。

しかし、文部科学省の「協定等に基づく海外留学の推移」によると、日本人留學生の派遣人数の全体数は減少している一方、大学間の協定による留学は、年々増加傾向にあるとのことです。

日本人留學生派遣人数と外国人留學生受入人数



出典：文部科学省「東アジア地域を見据えたグローバル人材育成の考え方 ～質の保障を伴った大学間交流推進の重要性～」参考資料
※2008年度の日本人留學生派遣人数は、2010年12月22日文部科学省発表による。

日本人の主な留学先・留学者数(2008年)

国・地域名	留学者数(人)
アメリカ合衆国	29,264
中国	16,733
イギリス	4,465
オーストラリア	2,974
ドイツ	2,234
台湾	2,182
カナダ	2,169
フランス	1,908
韓国	1,062
ニュージーランド	1,051
その他	2,791
合計	66,833

出典：文部科学省 報道発表「日本人の海外留学者数」について
アメリカ合衆国は「IE OPENDOORS」、中国は中国大使館教育部
台湾は台湾教育部、その他はOECD Education at a Glanceによる。

留学の終焉？

近年、日本から派遣される留学者数が頭打ちになっているのは、長引く不況や、日本人全体に見られる内向き傾向が原因だと思われる。しかし、大学間の交流協定等にもとづく留学は増加傾向にある——。これをどう理解すればよいのか。

大学における国際交流の地道な努力が功を奏しているのかもしれない。あるいは、留学が国内の成績(単位)としてカウントされ、帰国後も安心な制度として確立されていることで、学生の参加へのハードルを低めているのかもしれない。しかし他方で、手間暇とリスクを覚悟の上で、一人で手探りしながら国境を越えてゆくという冒険型の留学スタイルは、今の若者にはあまり人気がないのかもしれない。確かに、安全で便利な日本にはもう「すべてが揃っている」。インターネット時代に、何も海外でリスクを冒してまで掴むべき最新の「何か」など、もうこの世界にはないように思える。かつて日本人が感臨丸に乗って海を渡った時代の「留学」、世界の「文明」を追い求めて決死の覚悟で試行された「留学」の時代は、確かにもう終焉を迎えつつあるのかもしれない。

しかし、留学は、まさに今の日本人にとって、意味を変えてそ

の重要性を増しつつあると思う。つまり、「文明」の中心に出かけ、何か新しいモノを輸入するための留学、あるいは単に「箔(はく)」をつけるための留学から、自分とはまったく異なる世界や他者を発見し、それによって自分自身を真に見つめ直すための留学、いわば「世界認識=自己認識としての留学」への質的転換である。そしてこの、自分自身をできる限り広い視野の中で見つめる力こそ、今の内向きの日本社会に決定的に不足しているものなのだ。今、この国が「何でもあるけど希望がない」のも、このような世界に開かれた反省力、本当の意味での国際性が不足していることによるものかどうかは、もっと自覚されている。だから、形はどうあれ、肩肘張らず、「新しい世界で自分を変えてみようかな」と、しなやかに留学を決意する若者たちこそ、次の時代の希望なのだ。



佐々木 寛(ささきひろし)
新潟国際情報大学教授。
専攻分野は、平和学・国際政治学。2008年から2009年までカリフォルニア大学バークレー校客員研究員。

留学から得たことは？～留学経験者インタビュー～

留学をすると、どんな経験ができるのでしょうか。実際に留学を経験した方々にインタビューしてみました。



かいづ ちえ
海津 千恵さん

(ホテル日航新潟
宿泊部 宿泊課)

○留学の期間、場所等について教えてください。

2003年5月から8月までの3カ月間、オーストラリアのパーズにある「Milner International College of English」という語学学校に、現地の家庭にホームステイをしながら通いました。また、2004年8月には、カナダのバンクーバーにある語学学校「Canadian as a Second Language Institute (CSLI)」に、3週間の短期語学留学をしました。

○留学で印象に残っているエピソードを教えてください。

印象に残っているのは、オーストラリア人の「フレンドリーさ」です。例えば、バスから降りるとき、必ず乗客と運転手がバックミラー越しに目と目を合わせて「Thank you!」と声を掛け合います。私も最初は少し恥ずかしかったのですが、徐々に慣れてゆき、毎回温かい気持ちになったのを覚えています。こんな日常の1コマですが、その一つ一つが楽しい経験でした。

○留学をして良かったことはありますか。現在の仕事や生活などに、留学経験が活かされていることはありますか。

私は現在、ホテルのフロントで働いていますが、海外からのお客様と接するときに、留学経験が活かされています。留学時代には、世界各国からのクラスメートたちと友達になれたことで、様々な英語の「なまり」に触れました。その結果、どんな国のお客様とも、自信を持って、英語でコミュニケーションできるようになりました。



海津さん(中央):オーストラリア・パーズにて

○高校生・大学生へ、メッセージをお願いします。

私は皆さんにぜひ海外へ飛び出してみることをお勧めします。留学を経験すると、単に英語力がアップするだけではなく、様々なトラブルや挫折を乗り越える行動力や精神力も身に付きます。そして、それまで気づけなかった日本の良さも発見できるはずです。どうぞ、留学を通して大きく成長してください。



すずき じゅん
鈴木 純さん

(韓国・富川大学
日本語専任教授)

○留学の期間、場所等について教えてください。

1998年から2000年まで、ソウル大学国語国文学科に在籍し、修士課程を修了した後、2006年から2008年まで、梨花女子大学通訳翻訳大学院に在籍し、修士学位を取得しました。今は、忠南大学日本語日文学科博士課程に在籍しながら、富川大学で日本語を教えています。

○留学で印象に残っているエピソードを教えてください。

留学中は本当に勉強しかしていなかったもので、特に思い出の多いエピソードがなくて残念です。特に梨花女子大学留学中は、「人生でこれが最後の勉強だから、これ以上できないくらい勉強しよう」と決めて勉強に集中し、人間は寝なくてもある程度生きていけるのだと実感しました。

○留学をして良かったことはありますか。現在の仕事や生活などに、留学経験が活かされていることはありますか。

何よりも夫と知り合えたことが良かったです。また、現在勤めている富川大学で日本語を教えたり、通訳や翻訳をしたり、日本にある姉妹校との交流や、インターンシップやワーキングホリデーで日本に行く学生のお手伝いなど、日本と韓国の交流を推進する活動を行ったりという現在の仕事は、やはり留学経験があるからこそできる仕事だと思います。

○高校生・大学生へ、メッセージをお願いします。

新潟の良さ、日本の良さ、自分が今いるところの良さは、外に出てこそ見直せるものだと思います。今いるところから外に出るには勇気が必要ですが、勇気を出すだけの価値があります。殻に閉じこもらず、新しい自分を作り出してください。



韓国・茂州にて



カトリーナ・
シュミットさん

(新潟県知事政策局国際課
国際交流員)

○留学の期間、場所等について教えてください。

私はロータリークラブの青少年交換で、2001年8月から2002年7月までの1年間、新潟県立中条高等学校に留学しました。留学中はずっと同じ高校に通いましたが、様々な経験が得られるよう、中条に6カ月間、関川村に3カ月間、そして、新潟市に3カ月間滞在し、複数のホストファミリーと生活をしました。

○留学で印象に残っているエピソードを教えてください。

来日した時は、ちょうど「中条まつり」の時期でした。浴衣を着せてもらい、ホストファミリーと一緒に屋台を回って、花火を見ました。「日本」が強く感じられました。また、長崎への修学旅行や体育祭などのイベントが印象に残っていますが、ホストファミリーとの日常生活もとても楽しかったので、よく思い出します。

○留学をして良かったことはありますか。現在の仕事や生活などに、留学経験が活かされていることはありますか。

すべて良かったです。留学したからこそ、今の仕事をしています。留学した後に、アメリカの大学で日本語を勉強して、また新潟へ戻ることにしました。新潟は私の第二の故郷だと感じています。



奈良にて

○高校生・大学生へ、メッセージをお願いします。

他の国の文化や生活を体験することに興味があれば、ぜひとも留学してみてください。1年は長いと思うかもしれませんが、意外と短いです。そして、他の国に住んでみると、自分のことがより分かるようになると思います。若いうちにたくさんを体験してください。

新潟県内の交換留学制度実施大学

新潟県内にも、大学間協定による交換留学制度を実施している大学があります。

交換留学制度は、「大学が協定を結んでいるので、安心して留学できる制度や環境が整っている」、「在籍している日本の大学への授業料納入で留学できるので、通常の留学よりも経済的な負担が少ない」等、各大学により、様々なメリットがあります。交換留学等の詳細については、各大学にお問い合わせください。



大学名※五十音順	相手国・地域(提携校・機関数)	URL
敬和学園大学	中国(5)、アメリカ(3)、オーストラリア(1) 計3カ国・9校	http://www.keiwa-c.ac.jp/kyoiku/kokusai.html
国際大学	アメリカ(13)、カナダ(3)、中国(3)、イギリス(2)、オーストラリア(2)、韓国(2)、タイ(2)、フランス(2)、香港(2)、イタリア(1)、インド(1)、インドネシア(1)、オランダ(1)、シンガポール(1)、スイス(1)、スペイン(1)、台湾(1)、ドイツ(1)、トルコ(1)、ノルウェー(1)、フィンランド(1)、ベルギー(1) 計22カ国・地域、44校	http://gsir.iuj.ac.jp/irp/exchange.html(英語HP)
上越教育大学	中国(3)、アメリカ(1)、イギリス(1)、韓国(1)、台湾(1)、トルコ(1) 計6カ国・地域、8校	http://www.juen.ac.jp/contents/intro/internat/
長岡大学	韓国(1) 計1カ国、1校	
長岡技術科学大学	中国(11)、メキシコ(9)、タイ(8)、ベトナム(8)、マレーシア(7)、台湾(4)、アメリカ(3)、韓国(3)、オーストラリア(2)、ドイツ(2)、アゼルバイジャン(1)、イギリス(1)、インド(1)、インドネシア(1)、カナダ(1)、スペイン(1)、チリ(1)、ハンガリー(1)、フランス(1)、ベネズエラ(1)、モンゴル(1)、ルーマニア(1) 計22カ国・地域、69カ所(大学・研究機関等)	http://www.nagaokaut.ac.jp/
新潟大学	中国(34)、台湾(19)、韓国(10)、ドイツ(5)、ロシア(5)、カナダ(4)、タイ(4)、フランス(4)、アメリカ(3)、オーストラリア(3)、イギリス(2)、フィリピン(2)、エジプト(1)、オーストリア(1)、トルコ(1)、ハンガリー(1)、バングラデシュ(1)、マレーシア(1)、ミャンマー(1)、モンゴル(1) 計20カ国・地域、103機関(学部間の協定を含む)	http://www.niigata-u.ac.jp/intl/
新潟産業大学	中国(3)、韓国(2)、台湾(1)、ロシア(1) 計4カ国・地域、7校	http://www.nsu.ac.jp/nsu_j/kikan/iec/content2.html
日本歯科大学 新潟生命歯学部	アメリカ(3)、イギリス(1)、イスラエル(1)、オーストラリア(1)、カナダ(1)、スイス(1)、タイ(1)、台湾(1)、中国(1)、ニュージーランド(1)、フィリピン(1)、フィンランド(1)、フランス(1)、モンゴル(1) 計14カ国・地域、16校	http://www.ngt.ndu.ac.jp/

※上記の留学の他にも、様々な留学制度があります。各大学にお問い合わせください。

外国人留学生に対する当協会の取組み紹介

留学生就職支援セミナー

平成19年度から、県内の大学や専門学校で学ぶ留学生を対象とし、企業関係者や大学関係者と共に留学生の就職問題について考えるセミナー等を実施しています。

今年度は、10月2日(土)に「留学生就職支援セミナー」を開催しました。第1部の「留学生向けセミナー」では、株式会社ディスコ国際教育推進課の田口香織氏を講師に迎え、「留学生が日本で就職活動をする際のアピールポイント」や「企業が求める人材とは」等のテーマでお話しいただきました。続く第2部では、留学生参加者と県内企業の人事担当者等が一堂に会し、留学生の就職問題に関する意見交換や質疑応答を行いました。

将来的に日本や新潟県内での就職を希望する留学生にとっては、企業の採用担当者と直接話をする良い機会となったようです。



県内大学院グローバル化促進事業

将来の日本と本国とのビジネス交流の架け橋となる人材を育成し、新潟を拠点とした国際的な人的ネットワークを形成するために、アジア地域からの留学生支援と留学生募集の2つの事業を行っています。

○外国人私費留学生奨学金事業

県内大学院に入学するアジア地域からの留学生に対し、入学金と授業料のそれぞれ1/2以内の奨学金を給付します。平成22年度は9カ国からやって来た17名の留学生に、奨学金を給付しました。

○海外留学生募集活動支援事業

大学院を有する県内大学が、アジア地域で行う留学生募集活動に対し、対象経費の1/2以内を助成します。平成22年度は4大学、17カ所での募集活動に助成を行っています。

NIAインフォメーション

～NIAの活動報告とお知らせ～

新潟県国際交流協会設立20周年記念講演会

新潟県国際交流協会は、平成2年10月1日の設立から、今年度で20周年を迎えるにあたり、これを記念する講演会を11月25日(木)に、ホテル日航新潟で開催しました。

当日は、約300名の一般県民、国際交流団体の方々が来場し、外国出身者によるパネルディスカッションや、政治コラムニスト後藤謙次氏による記念講演を、熱心に聞いていらっしゃいました。

また会場には、当協会20年の歩みや、現在の主な協会事業を記したパネルを展示し、新潟県の多文化共生の歩みを振り返りました。



【記念講演会】

第一部：パネルディスカッション『地域と共に生きる』

コーディネーター：羽賀 友信 氏

パネリスト：アレクサンドル・ブラーソル 氏 (ロシア出身)

権 五景 氏 (韓国出身)

鄭 月順 氏 (中国出身)

バートルペール・チオイジン 氏 (モンゴル出身)

ファビオ・ジョゼ・ドス・サントス 氏 (ブラジル出身)

第二部：記念講演

『政治の劣化が招く外交力の低下、

田中元首相と日中国交回復』

講師：政治コラムニスト 後藤 謙次 氏



災害多言語支援ボランティア育成研修

災害時に情報弱者となる外国人を支援するために、被災地や避難所などに赴き、多言語による支援活動ができる人材を育成する研修を、平成21年から実施しています。昨年度は新潟市、南魚沼市(国際大学)で、今年度は新潟市、上越市、三条市で開催し、たくさんの方々に参加いただいています。

講師には、中越沖地震の被災者であり、災害多言語支援センターで活動経験のある清水由美子さん((財)柏崎地域国際化協会事務局長)をお迎えし、通訳・翻訳の技術的な研修だけでなく、災害時にボラン

ティアとして活動していただくために必要な知識・心構え、外国人への対応の仕方、情報提供の方法なども学んでいただいています。

このほかに、ボランティアの通訳実践と外国籍住民の防災知識向上を兼ね、防災に関するイベントや講座を行い、支援する側・支援を受ける側双方のレベルアップを目指しています。



国際理解教育プレゼンテーション コンテストを開催しました！

平成22年12月11日(土)に朱鷺メッセにて、「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」を開催しました。このコンテストは、「国際理解」をテーマに、学校での教科、総合的な学習の時間やクラブ活動、又は地域での活動などにおける学習の成果に関するプレゼンテーションを、生徒3名以上からなるチームで行うもので、今年で5回目となります。

今年度は、中学生部門に5チーム、高校生部門に7チームが参加し、日ごろの取り組みの成果を発表しました。中学生部門と高校生部門でそれぞれ最優秀賞を受賞した「新潟市立上山中学校」と「県立新潟商業高等学校 商業クラブ」は、3月下旬に韓国スタディツアーに派遣される予定です。



◆入賞チーム ※()は所属

中学生部門

最優秀賞 新潟市立上山中学校

優秀賞 Team I.A.F.P～It Acts For People (小千谷市立小千谷中学校)

特別賞 GROW (小千谷市立小千谷中学校)

高校生部門

最優秀賞 県立新潟商業高等学校 商業クラブ

優秀賞 愛♡コロジュー (身近にできる国際協力実行委員会)

特別賞 MIX-N (国立長岡工業高等専門学校 地球ラボ)

お知らせ

1

平成23年度

団体・個人賛助会員を募集します！

当協会では、国際協力・国際交流等協会事業を支える、団体と個人の賛助会員を募集しています。加入を希望される方は、協会にご連絡ください。入会申込書(兼振込用紙)を郵送いたします。会員特典もありますので、ぜひご加入下さい。

参加資格：当協会の目的に賛同される個人または団体
会費：個人会員1口 3,000円/年度(1口以上)
団体会員1口 10,000円/年度(1口以上)

募集期間：通年

会員期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日 ※年度毎の更新

- 個人会員の特典 県立美術館入館助成券の進呈/県内施設・レストラン等の割引利用
- 団体会員の特典 協会研修室の無料貸し出し(収容人数：最大25人程度)
国際化推進活動助成金(上限20万円)/印刷機の利用(用紙をご用意ください)
- 個人・団体会員共済特典 当協会の刊行物・イベント案内チラシ等の送付
イベント・セミナー等への優先参加/国旗、図書等の貸出
パネルの展示 ※パネル展示については、下段をご覧ください。

お知らせ

2

国際交流プラザで

パネル展示をしませんか？

県内国際交流団体の活動を支援するために、国際交流プラザ内に設置したパネル1～2枚を貸し出します。イベントの告知や活動報告、写真の展示などに、幅広くご利用ください。

利用要件：当協会の賛助会員で国際交流活動を行う個人または民間団体等
展示サイズ：パネル1枚のサイズ [縦210センチ×横120センチ] 2枚まで。
片面・両面使用可能。

利用期間：1団体あたり1週間～1カ月まで

利用料：無料(ただし展示に際しての費用は利用者の負担)

利用申込書を当協会ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送、FAXまたはメールで当協会へ送付してください。

※詳しくは協会HP「県協会ニュース」をご覧ください。

当協会では国際関係の取り組みをしている高校、大学の情報、国際交流団体のイベント情報を募集しています。「学校の取り組みを紹介して欲しい」、「イベント告知をしたい」などの情報をお寄せ下さい。内容を確認の上、広報誌紙面やメルマガ等でお知らせします。